広報かじき

No.240
昭和50年 7

発行／加治木町役場・編集／総務課文書係
印刷 吉屋印刷

機械化のなみにおされて少なくなつた手植えの人々（木田の田圃で）

■メモ　人口／20,240　男／9,489　女／10,751　世帯／6,600　(50年6月1日現在)

緑と大自然に囲まれて

「からいも学級」開講

親子三十八組が参加

親子で共同作業の「からいも学級」の人々

うわー見晴らしがヨカー、何んとも言えない場所だ……。

町社会教育の新しいこころみとして、全国でも珍しい「からいも学級」の開講式が、六月二十一日前面に錦江湾と桜島を望む景勝地丸岡公園で行われた。

この学級は、町内の小学校三・四年生の児童を持つ家庭を対象に町の土地一〇アールを七班に分けて、夏はからいも作りと、冬は野菜づくりの生産学習で親子の対話や仲間づくりを進め、土いじりを通じてお互いの和をひろげようというもの。

収穫したからいもや野菜は、各家庭に持ち帰り、それぞれ料理し生産の味をかみしめ、労働のよろこびを味わう。

手入れはすべて親子でやるほか一か月に一度は全家族が集まって学習会を開き仲間づくりを進めるこの日は、にわか雨の降るなかに、参加者三十八組の親子が集まり、町長をはじめ町教育委員長のあいさつのあと、加治木農業改良普及所の君付守技術員から「からいも」の由来と植え付けについて手ほどきを受けた。

学級生は割り当てられた畑、一家族当たり約二十三平方㍍をなれない手つきで、お父さんはクワをとり、お母さんと子どもたちは肥料をまいたり、草むしりに、はだしで土いじりを楽しみ、なごやかなうちに曲がりなりにも、うねができ植えつけがすんでホット一息

学級生の一員で鮮魚商の松田藤人さん(四〇)は奥さんが参加するはずであったが、当日になっておやじの参加となり子ども二人と「クワを初めてとったが、うまくいかん、魚の料理の方がよい」と汗をかきかきそれでも楽しそうに張り切っていた。

また会社員の鳥飼俊貴さん(四二)も一家四人総出で、若い頃はカンショ作りをしたが戦後は始めてですと、土いじりに余念がなかった

秋の収穫を楽しみに

四年間町政に貢献

前議員に感謝状を

町では五月三十日議事堂で、昭和四十六年五月からまる四年間町議会議員として、町政に努力された前議員に感謝状を贈り過去四年間の労をねぎらいました。

東町長は「昭和四十六年当選以来、町政発展のために、なみなみならぬご精励を賜わり、その職責を全うしていただき、まことに感謝に堪えません。町民にかわり深じんの謝意を表します。引続き再選された方は今後、より一層のご活躍とご発展を期待し、ご勇退された方は今日までの貴重な体験を生かしていただいて、今後とも末長く町政に対するご配慮とご協力ご指導を賜わるようお願いしご健勝を祈ります」とあいさつ、議員ひとりひとりに感謝状を贈りました

前議員を代表して土橋習一(前議長)さんが「執行部のご協力により無事住民代表として、町政に貢献できたことを感謝します。また身にあまる感謝状をいただき、ありがとうございます。今後のご健勝を祈ります」とお礼のことばをのべました。

ごくろうさまでした。

感謝状を受ける前議員

歩行者天国

買物は町内で

町内蒲生田通りの、歩行者天国は毎月第二・第四の日曜日、午前十時から午後六時まで。

歩行者天国でにぎわう蒲生田通り

からだを きたえよう

暑さと生活の不規則は、夏やせの原因となります。

暑さにまけず規則的な生活を心がけましょう。とくに水に親しむ季節です職場や地域でみんなが泳げるようにしたいものです。

子どもを水の事故から守ろう

▽子どもの監視を地域ぐるみで△

毎年夏になると水による事故が増えてきます。特に幼児の事故が目立っています。また場所別では海と河川がほとんどですが、幼児の場合用水路や溜池での事故も増えています。

これから真夏にかけては水遊びのシーズンになりますが、子どもを水の事故から守るため、次の点に注意しましょう。

おとなの注意

①幼児が水遊びや魚とりに行くときは、大人が必ず同行し、現場でも子どもから目をはなさないようにする。

②家の近くに危険な場所があるときは、隣近所が協力して、早くサクやフタをとりつけるようにする

③幼児の遊び友だちの母親同士がお互いに連絡がとれるようにしておく。

④子どもが危険なところで遊んでいるのを見かけたときは、注意してほかの場所で遊ばせる。

⑤家庭内でも泉水や風呂場で、あるいは洗濯機による水死事故も起っています。幼児から目を離さないようにする。

春季弓道大会

故小溝・前県連会長を追悼

16チームが出場

町社会体育の一環として、春季弓道大会は六月十四日町営弓道場で開かれ、十六チームが参加しました。

この日は故小溝武志範師（前県連会長）を悼み一分間の黙とうのあと試合開始。

故小溝前会長は、昭和四十七年町営弓道場が落成したとき、おいでいただき道場開きにふさわしい儀式と幕一式をご寄贈されましたまた県下に弓道熱を広められ弓道に貢献された方です。

故人のめい福をお祈りいたします。

大会は十六チームがそれぞれの部門に分かれて日ごろの技を競いました。

竜門中A、加高校A、教職員が団体で優勝しました。

入賞者は次のとおりです。

△団　体

中学の部＝①竜門中A②加治木中③竜門中B

高校の部＝①加高校A②加工校C③加工校A

一般の部＝①教職員②加治木税務署③求道館

△個　人

中学の部＝①溝口広臣（加中）②吉田　孝（竜中）③畠中一也（竜中）

高校の部＝①田口正人（加工）②藤田雄次（加高）③森　清志（加工）

一般の部＝①二見和子（求道館）②池田演幸（教職）③高倉行夫（教職）

前町長曽木さんの講話

推進委会総会

汚すな白バラを!!

明るい選挙推進委員会総会

白バラはすべての者が住みやすく、明るく幸せになるために、決して汚してはならない国民のシンボルです。

町明るい選挙推進委員会（小浜末雄会長）は、六月六日福祉センターで総会を開き、今年も白バラ運動をすすめるために、新しい推進委員二十人に委嘱状を交付したあと、五十年度の事業計画について協議しました。

今後は機会あるごとに、常時啓発運動を部落や地区、団体グループなどの会合でしていくことや、町政をみつめる学習会、明正選挙標柱設置などを話し合いました。

推進委員は次のかたがたです

寺崎豊志（仮屋町）栄　義雄（港町）吉村繁樹（小山田）犬童恵子（木田）吉村友樹（錦江町）堤　治子（反土）出木場ハナ（新富町）蔵満月子（木田）久保田照子（西別府）湯川好子（小山田）本村アヤ子（日木山）鬼塚俊男（反土）小浜末雄（諏訪町）児玉実憲（木田）篠原英熊（木田）小浜寛司（木田）大脇篤彦（木田）冨田武雄（反土）瀬川新義（反土）横山清（本町）

七月十五日は農業委員選挙です

教委連・町婦連〔共催〕

見なおしてみよう加治木のおいたち

「ふるさと学級」開講式

社会のはげしいうつりかわりで古きよいものが失われつつある今日、今一度自分たちの目で見なおしてみようと、六月二十七日七十人の学級生が集り、福祉センターで開講式が行われた。

「ふるさと学級」と名付けて、この日は前町長であった曽木隆輝さんを講師に、第一回目の学習として「加治木のおいたち」について加治木の由来や戦国時代から島津氏の時代を経て今日に至るまでの二時間にわたる話しをを聞きました。皆んな熱心に学習しました。

母と子の肌のふれあい

赤ちゃんは母乳で育てよう

健康なあかちゃんを育てるために母乳をおすすめします。

加治木町健康管理推進協議会（東　国雄会長）は、六月十日福祉センターで総会を開き四十九年度事業の経過報告と五十年度事業計画を審議しました。

△食品の正しいくみ合せで健康を高める。

△年齢や仕事に応じた食事と適当な運動をする。

をスローガンに進めていく。またつとめて母乳で保育する努力をし、そして正しい保育で丈夫な赤ちゃんを育てるために、太陽の子推進員と栄養改善推進員の委嘱状を交付し、四十九年度行なった春・秋の乳児検診と三歳児検診の優良児が表彰されました。

受彰者は、次の子どもたちです

■春の乳児検診

田中剛太（楠園）横山みどり（江口団地）池畑知子（中塩入）泊素士（蔵王団地）上別府さおり（内原田）後藤武志（口ノ町）

■秋の乳児検診

渡辺章次（向江町）岩元由美子（南塩入）森山俊介（春日団地）藤野照子（石野）増山浩明（萩原）橋口友美（西塩入上）宮下和彦（空港団地）

■三歳児検診

肥後たかみ（空港団地）神園祐樹（田中）大塚淑子（西諏訪）年永まゆみ（竜門住宅）竹内基美（向江町）

入賞された田中剛太ちゃんほか十七人のみなさん、おめでとう。

表彰を受けた健康児とお母さんたち

ご存じですか〝太陽の子〟運動

推進委員を

丈夫な赤ちゃんを生み、育てる〝太陽の子〟運動をすすめるために、町では次の二十人の太陽の子運動推進委員を委嘱しています。

気軽にご相談ください。

■おもな内容

▽妊婦検診▽育児相談▽母子栄養▽妊娠中毒▽障害児▽予防接種

■推進委員

▽松金ふじ子（岩原西）▽島津澄（柳田）▽曽木よしえ（柳田）▽永田フヂ（柳田）▽敷根いわ子（於里）▽渕辺ふく（萩原）▽山上純子（萩原）▽松田エミ（於里）▽日置信子（天神）▽武田静子（新道）▽郡山滋子（須崎）▽坂元重子（中福良）▽野元道子（岩原）▽東　豊子（岩原）▽児玉周子（上木田）▽四元典子（天神）▽久木元ツルエ（田中）▽吉丸アヤ子（札立）▽安楽千鶴子（於里）▽入部美代子（港町）

感謝の気持で

健康を第一に

町老人クラブ連合会（猪俣定雄会長）は、このほど福祉センターで総会を開き、同クラブに貢献された三名の表彰を行いました。

つづいて四十九年度の決算や五十年度の予算案などを審議し、新しい役員の選出をしました。

来賓あいさつで加治木福祉事務所長は「皆さんは、まず健康であること、福祉政策があたりまえだと思うことはよくありません。何ごとにも感謝の気持ちをもって、地域づくりに励んでください」

また町長代理として岩田助役は「健康なお姿を見て感謝します。今日の社会を築いてくださったのは皆さんです。今後は物的援助は無論でありますが、心の福祉をはかって行くことも行政の面で大事であります」とお祝いのことばをのべました。

表彰者および新役員は次のとおりです。

■表彰者

池畑　守夫（中塩入・五年）
朽山　義治（田　中・五年）
漆島　宗夫（今　町・五年）

■役　員

会　長　猪俣　定雄（毛　上）
副会長　横山　清（垂之口）

老人クラブ総会

町営温泉の休業

毎月第二・第四木曜日

町営温泉は町民の皆さんの憩いの場として、多く利用されていますが、従業員の皆さんの健康管理のために、毎月第二・第四木曜日を休みとしております。

七月は十日と二十四日です。

たばこは
町内のお店で
買いましょう

話題あれこれ

お米は登録店で買いましょう

米の販売は登録店でしか、販売できないが、町内にはコソコソとヤミ販売をしている人がいて、正当な販売に大きな迷惑をかけています。

町と登録店では、これらのヤミ行為を止めさせるとともに、消費者の皆さんの理解を得るため、町内に写真のような看板が立てられた。

消費者のみなさん、お米は必らず登録店から購入しましょう。

職域の立場から有川さん実例発表

第三回交通安全の姶良西部地区総ぐるみ大会が五月二十八日、姶良町公民館で開かれ関係職員、婦人会、小学生、各職場などが参加しました。

大会では交通安全総ぐるみ運動の推進について、加治木郵便局の有川馨さん（職域代表）ら四人の代表者がそれぞれの立場から発表しました。

有川さんは「現在災害や事故の内で一番多いのが交通事故である郵便局では毎週金曜日を交通安全の日と定め職場内放送を実施している。①始業、終業時の点検を毎日する。②欠陥のある車にはぜったい乗らない。③欠陥車はその日に修理する」など日ごろの心構えがだいじであると発表しました。

町防災会議で6か所を点検

大雨が降れば、がけ崩れで家がつぶされ、人命を失う災害が毎年どこかでおこっています。

これらの災害を少しでも、なくそうと六月十一日、福祉センターで町防災会議が開かれました。

各関係機関の代表十七人の委員が町内の危険な場所六か所を現地点検し、今年は次の箇所を防災対策地として指定しました。

町営温泉附近（反土）▽国際ゴルフ場（小山田）▽網掛川竜門滝の下流左岸約二百㍍地点まで▽網掛川および支流宇曽ノ木川合流点附近より上流約二百㍍地点まで▽西別府、小山田農免道路▽シラス採取場（小山田）特に国際ゴルフ場とシラス採取場は県の防災会議の視察もうけました。

貯金局長から表彰　小山田簡易郵便局

小山田簡易郵便局（榎園　明）は、郵政省貯金局長の表彰を受けることになり、六月二十五日加治木郵便局（佐宗康輝局長）で伝達式が行われました。

小山田簡易郵便局は日常、為替貯金事業に専念され、貯金奨励に優良な成績をおさめられたので、この度の表彰となったものです。

同簡易郵便局は四十七年度から四十九年度の三年連続表彰となり四十九年度は姶良郡内でただ二局の表彰であります。

「このような表彰は、何回受けてもうれしいです。今後もがん張ります」と榎園さんはほほえんでいました。

おめでとうございます。

仮屋・伊藤両選手県庭球大会で優勝

■仮屋靖弘⑰＝加工高・札立＝六月四・五日県営コートで開かれた全県高校庭球大会のシングルスに優勝。九州大会や秋の国体での活躍が期待される。

■伊藤勝博⑲＝鹿経大・諏訪＝六月一日開かれた県庭球協会主催、鹿児島経大学長杯争奪戦シングルスで優勝する。

両選手は共に加治木中学校入学と同時に、町のテニス教室にはいり正規の教育と訓練をうけたもので、在学中すでに県下中学選手権をはじめ他の公認試合にも出場、たくさんの優勝をしている。これも本人の素質と努力はもちろんのこと町の協力によって正しく育成され、全国的レベルに達した選手である。おめでとうございます。

町連合婦人会 七月行事のおしらせ

（婦人会だより）

□ **中央婦人学級**

六月の開講式に続いて、七月は古い時代の加治木の人の生活について勉強します。

考古学の専門の先生を講師に迎え最近発掘された三代寺遺跡などの出土品を見ながらの講義です。

□ **生活学校**

本年度は「食品問題について」じっくり取り組んでいくつもりです。私達の毎日の食生活が公害の心配のないものを求め、そして向上していくことが目的です。

ふるってご参加を!!

□ **婦人会バレー**

七月二十七日(日)加中体育館で実施します。郡大会予選も兼ねております。この大会は会員相互の親睦とレクリエーションが目的です。

わたしたち家庭の主婦は運動不足になりがちです。若さを保つためのいい機会です一日集って汗を流そうではありませんか、すべてを忘れてボールを追うのも、またいいものです。

□ **古紙回収**

昨年度にひきつづき本年第一回目の回収です。新聞折込みの広告紙を主にしますが、それ以外のどんな紙でも結構です。家の中に眠っている資源をもう一度活用すると同時に中央公民館の建設基金となるものです。

県の婦人会館も三十二年に古紙回収で建設されたものです。捨ててしまいそうな古い紙でもしわをのばし大切にしまっておいたものを集めた基金であったそうです。

今更ながら会員の力の大きさを知りました。加治木の婦人会もがんばりたいものです。

お茶の間

□ **オムツ一枚運動**

毎年奉仕活動の一つとして続けておりますオムツ一枚運動にご協力ください。

わたしたちの真心をそのまま、お届けするには、すぐお役に立てるものがいいのではないかと思い施設の方へ寸法をお聞きしました。

並巾で一㍍以上のもの、布質もネルなどの水分を吸いやすいものがよいとの希望です。

皆さまどうぞよろしくお願いします。

より積極的な社会参加をすすめるため

＝県婦連市町村幹部研究協議会＝

六月九日県婦人会館で開かれました。「国際婦人年にあたり社会参加の実をあげよう」を主題に、県下市町村の幹部約二百人が集い四分科会に分かれて、熱心に討議がされました。

■サブテーマ

①資源を大切に。

②より積極的な社会参加をすすめるために。

文化講演会開催

田中澄江先生の文化講演会が、七月十九日(土)午後二時から四時まで県文化センターで開かれます。

演題　「愛について」

聴講料は無料です。

「つり」ブーム

大人は「いそづり」で身を危険にさらし

ぼくらは「しまづり」で楽しそうね

早くつれないかなあ……

網掛川にて

台所編 わたしたちの生活を見なおしましょう

栄養のある食品をあっさりと、捨ててはいけません。

■大根の葉はさっとゆでてからいためものやゴマあえ、みそ汁の実、かきあげなどにして。

■パセリの葉、セロリの葉、人参の皮などはインスタントスープに加えるとおいしい味がでます。

■人参の葉は天ぷらに、ウドの皮やフキの葉はつくだに風に。

■四・五日おきに冷蔵庫や野菜かごを点検し、残りものを利用した料理を作りましょう。

■野菜の切りくずは、ポリ袋に入れて冷蔵庫に保存し、たまった時いためもの、豚汁、ケンチン汁などに。

句会

開け放つ部屋筋かひに黒揚羽　伊丹　司朧

外国へ旅立つ支度枇杷熟るる　横山　江南

干天の伸び極まりし梅雨穂草　鶴田　耕

空透けり栗の初花ふたつみつ　松永　愛子

団地みな若き主婦なり芥子の花　井之上透山

万緑を真二つに裂き滝かかる　渡辺　水鶏

朝顔の合掌の芽のいとけなく　林　玄洋

蛍火のたまゆら浄しにはたずみ　是枝　春舟

散歩道蛇横たわり動かざる　田代　俊一

空梅雨の一夜静かに火山灰降らす　恒吉　斗南

取りすぎて筍捨てる戻り道　宮脇　思川

走り梅雨石垣それぞれの顔を持つ　中山　待香

ようやくに嫁も手なれて早苗取る　柳田　山人

五月の太陽町は孕み女を産み　永田　禾陽

加治木名物

無言の〝闘士〟クモ合戦

二百六十匹が出場

伝統行事の一つ、加治木名物クモ合戦は六月八日（町観光協会主催）福祉センターホールで開かれました。

町内や県内外からの観客や報道関係、アマチュア・カメラマン、それとクモを手にした出場者など約五百人でにぎわいました。

この日、出場したのは大人三十一人、少年五十七人で、あの手、この手で飼育されたクモ二百六十匹。

大山綱男会長のあいさつとクモ合戦由来の話しのあと、五人の審査員によって、ミス優良グモの選考がありました。

容姿、美ぼうなどに自身のある十一匹のクモを、それぞれおシリや手足の釣合いなど、審査規定によって厳正な審査の結果、二匹のミス、準ミスを選びました。

やがて竹内親男審判長、新福貢審判員によって大人の部、少年の部の二か所に分かれて五時間半にわたる好取組が展開された。

一・七㍍の高さに設けられた、ヒモシの棒の上で互いに手足を、ひっかけ合うクモ、おシリにかみつくもの、生死をかけた一瞬に、カミシモ姿の審判員も、ぐっと息をのむ。下では観客が、無言の闘士に目を白、黒させ、ひたいに汗をにじませながらところかまわず大きな声で「それ行け、それ行け」「そこじゃ、そこじゃ」とクモにハヤシをかけるクモキッゲたちこの真剣な表情や声援をカメラや録音におさめていた放送マン

コイデ二勝しもした。オマンサーは、いけなこっな…とお互いに健闘をたたえるクモ主、審判員の判定に盛んな歓声をあげていた。

今年はテレビ放送用の取材班が二組、東京福良フィルム社と東京岩波書房映画部がこのクモ合戦を終日フィルムにおさめました。

合戦も終わりに近ずき、最終をまたずに大人の部で入部　貢さんのクモが優勝確実となり、この放送を耳にした入部さんの奥さん、いわく〝出場することは優勝することですね〟と喜びをかみしめていました。

毎年参加しているが優勝は、はじめて、優良グモでは二年前に一位をとりましたが、今年は二位でしたと、これまた笑いのとまらない入部さんでした。

こうして古い伝統をもつ加治木のクモ合戦は、毎年大隈半島や薩摩半島から、はるばる取ってきたものばかり。最近クモも少なくなりましたとは、クモ愛好家の弁。

これからも、このクモ合戦をたやすことなく、自然をきれいにするとともにいつまでも、いつまでも子孫へ受け継ぎたいものです。

当日の成績は次のとおりです。

▽優良グモ
①児玉真哉　②入部　貢

▽少年の部
①平田　稔　②松田洋人
③福永博子

▽大人の部
①入部　貢　②池田秋義
③川原　弘

▽三勝グモ王将戦
①池田秋義　②川原　弘
③入部　貢

放送カメラマンもいっしょうけんめい

記事の訂正

本紙六月号（二三九号）七ページ町青年団結成の役員の記事中、副会長犬童恵子（竜門）は（ひまわり教室）会計前留利治（永原）は前畠利治、監事川越広一（竜門）は川越弘一の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

≪クモ合戦≫

養護学校加治木分校へ

学年対抗で元気づける

町観光協会では、木田の南九州病院内にある県立指宿養護学校加治木分校（下迫繁男教頭）を訪問

筋萎縮症で入院生活をしている子どもたち五三人に、クモ合戦を見てもらいました。

学年対抗で好取組が進むにつれて、子どもたちは、身をのりだしての応援、周囲で看護婦さんや先生も一諸になって声援を送っていました。

親元を離れて難病と闘いながら生活している子どもたちに、この訪問は大変気持ちの安らぎをあたえたことでしょう。

学年対抗に見いる児童・生徒

税務大学校学生募集

人事院、国税局では、今年も例年どおり、「税務大学校普通科学生」の募集を行います。

在学期間は一年で民法、商法、経済学などの基礎科目や税法などの専門科目のほかに、体育、文学美術等の一般科目もあります。

在学中は、国家公務員として給与が支給され、教科書や教材は無償です。もちろん学費はいりません。

受験資格は昭和三十年四月二日から同三十三年四月一日までに生まれた男子です。

南九州地区での試験は、第一次試験が十月五日(日)に熊本市や大分市など七か所で行われ、高等学校卒業程度の学力と適性テストがあります。

第二次試験は十一月中に人物試験、身体検査があります。

受験願書の受付は七月十六日から七月二十九日までです。

詳しくは加治木税務署にお問い合せください。

写真・セイタカアワダチソウ

『公害植物』を絶滅しましょう

▼セイタカアワダチソウ▲

セイタカアワダチソウは、菊科の植物で花粉が「ゼンソク」の原因になると言われる公害植物です

とくに鉄道沿線や道路の脇、河川敷地、その他空地などに黄色い花をつける背の高い雑草がセイタカアワダチソウです。

防除方法は特になく、繁殖力が強く「抜いても、抜いても出てくる」植物だけに開花期の十月までには、根こそぎ取って絶滅しましょう。

今月の納期　保険税（第二期分）

誰でも気軽にどうぞ

無料人権相談所開設

七月二十八日福祉センターで特設人権相談所を開きます。

人にだまされたとか、いつのまにか自分の土地が他人名儀になっていたとか、交通事故にあってどうしたらよいかなど。

いろいろなことで心配している人、一度相談してみませんか、秘密は守ります。相談も無料です。

誰でも気軽にご相談ください。

■開設時間　午前十時から午後三時まで。

■担当者　人権擁護委員＝林　敏克、中摩多美子。

加治木法務局＝支局長補佐中村幸雄、総務係長日高一人。

＝7月1日～8月31日＝助け合う心と心が非行を防ぐ

第25回社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする運動です。

次代を担う青少年の非行を防止し、その健全な育成をはかることは、みんなが願っていることですが、そのためには関係機関、団体はもちろん、地域のみんながいっしょになって、非行を誘い起している社会の中のいろいろな原因を取り除くことです。

今年も七月一日から八月三十一日まで、全国いっせいに社会を明るくする運動が始まります。

■今年の重点目標

地域住民の連帯による青少年の非行を防止する。

■標　語

○助け合う心と心が非行を防ぐ

○親と子の話がはずむよい家庭

○更生しようとする心に通うあなたの目。

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万五千円　高井田　國生クサエ（夫清治）

二万円　隈原上　堂森富義(母イセキク)

一万円　吉　原　小山田清治（妻トヨ）

一万円　辺川下　小宮路フリ（夫栄蔵）

一万円　岩原西　松元正人（父　緑）

三万円　萩　原　市来高明（妻レン）

一万円　西の原　吉村恵子（夫隆雄）

五万円　吉　原　塩入ハル（夫政二）

一万円　岩穴口　川野ハル（夫　繁）

一万円　福岡市　川原哲雄（父秋夫）

一万五千円　辺川下　小宮路チト（夫　新）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　隈原上　堂森富義(母イセキク)

二万円　萩　原　市来高明（妻レン）

五千円　辺川下　小宮路チト（夫　新）

○六月二十日までのご寄付を掲載しました。

七月の在宅医

6日　大川医院　②二〇三二

13日　平山医院　②二四六八

20日　玉利病院　②二三二八

27日　壱岐医院　②二二二二

■…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

■…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください